

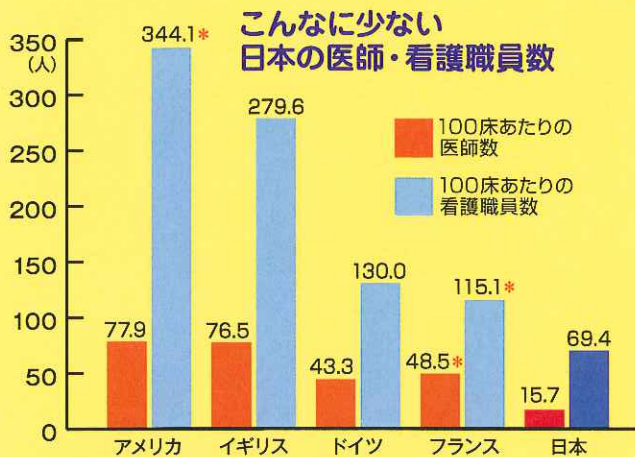
いのちを大切にしたいから

地域医療の再生と震災からの復興、
 社会保障の充実を
 大幅増員と夜勤改善で、
 安全・安心の医療・介護の実現を

看護師などを
 増やして
 ください

勤務間隔
 12時間以上
 あけて
 ください

国民の負担を
 減らして
 ください



出典：「OECD Health Data 2010」

*は実際に臨床にあたる職員に加え研究機関等で勤務する職員を含む

医療や介護現場の人手不足は深刻です。社会保障費抑制策によって、患者・利用者の負担増と医療・介護崩壊がひろがり、国民の命と健康が脅かされています。

医療・社会保障予算を増やし、安全・安心の医療・介護を実現しましょう。

厚生労働省の「夜勤・交代制労働の改善通知」の実行を求めます。(2011年6月17日付)

『大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護の実現を』国会請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

年 月 日

紹介議員

請願趣旨

東日本大震災では、「医療崩壊」「介護崩壊」の実情があらためて明らかになり、その中で医師、看護師、介護職員など医療・福祉労働者の人手不足も浮き彫りになりました。

厚生労働省が2011年6月17日に出した「看護師等の『雇用の質』の向上のための取り組みについての通知」では、「看護師等の勤務環境の改善なくして、持続可能な医療提供体制や医療安全の確保は望めない。夜勤・交替制労働等の勤務環境改善は喫緊の課題」としています。安全・安心の医療・介護の実現のためにも、看護師など夜勤・交替制労働者の大幅増員と、労働環境の改善のために、法規制が必要です。

震災からの復興、地域医療再生のためにも、医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民の負担を減らすことが求められています。

そのために、以下の事項の実現を求めます。

請願項目

- 1、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること
- 2、医療・社会保障予算を増やし、医師・看護師・介護職員などを大幅に増やすこと
- 3、国民負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること

氏名	住所

※この署名は、国会に提出する以外には使用しません。

取扱団体

 **医労連**
(日本医療労働組合連合会)

 **全大教**
(全国大学高専教職員組合)

 **自治労連**
(日本自治体労働組合総連合)